

月刊 やちまなこ

2022. 6.15 発行

No.295

6月号

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



初夏を感じるものを想うとき、新緑の美しさもさることながら、この季節、真っ先に聴こえてくる虫の鳴声を思い出す。5月下旬、その「ミョ〜ウキン・ミョ〜ウキン・ケケケケ〜」という声を今季初めて聴いた朝、塘路湖畔にて声の主エゾハルゼミが羽化する場面に出くわした。蟬の一生は短いとはよく言われることだが、幼虫の時期は土の中で何年も過ごすのだという。これは、ようやく日の目を見た瞬間だ。

野鳥たちは繁殖を終え、子育てに懸命であるし、湖沼の植生も移ろいが早い。もうすぐ暑い夏がやってくる。



塘路フィールドノート【5/15～6/14】

【野鳥】

釧路湿原で繁殖する鳥たちは、この時期子育て奮闘中である。森ではムシクイの仲間やヒタキの仲間が、得意の囀りを披露していた。



ウグイス（塘路湖畔）

声が大きいため、存在にはすぐ気づくが、その姿を見つけるのはなかなか難しい



アカゲラ（塘路湖畔）

まだ巣穴の内見中なのか、時々外を伺うのみ。ヒナの声が聴こえる日も近いかな



アオサギ（塘路湖畔）

子育ての季節。森の外からそっと覗いたら、ヒナは元気に大きくなっているようだ



タンチョウ（釧路湿原）

親鳥は自分とヒナたちの胃袋を満たすのに懸命だった。このまま順調に育って欲しい



ショウドウツバメ（塘路湖畔）

時々、センターの周りを大群で飛翔する。芝地にとぶ虫を食べにきているようだ



センダイムシクイ（サルルントー）
「焼酎一杯グイー」と聴こえるか？といえばそうでもない。「チヨチヨビー」が妥当

【植物】

春の花があったという間に終わり、初夏の花が目立つようになってきた。季節の移ろいは早いですね。



オオバナノエンレイソウ（大花延齢草）
初夏の花というより春の終盤の花なのかも知れない。道東を代表するエンレイソウ



コンロンソウ（崑崙草）
水辺から遊歩道脇まで、広い環境で観られるアブラナ科の花



フタマタイチゲ（二股一華）
岸辺に群生して咲いていた。湿度の高い土壌を好むようだ



フデリンドウ（筆竜胆）
背の低い可憐な花を咲かせるリンドウ。陽当たりのよい山の斜面に咲いていた



クサノオウ（草の黄・瘡の王）
林床に生えるケシの花。その名の通り、存在感のある黄色い花をつける



エゾノタチツボスミレ（蝦夷立壺堇）
湖畔に咲くスミレの仲間。葉先が尖るのが特徴

【動物】

二本松へ向かう湖沼群の周辺では、エゾシカの群れが目立つようになってきた。子狐たちは森で遊び、リスなどの小さな動物も、一心不乱に食べるものを探して彷徨っていた。



キタキツネ（釧路湿原）
親狐とはぐれたのか、兄弟で暢気に林道に寝そべっていた。人の気配にも全く動じない



シマリス（塘路湖畔）
ようやく暖かくなり、食べるものを探して、木から木へ忙しく走り回っていた



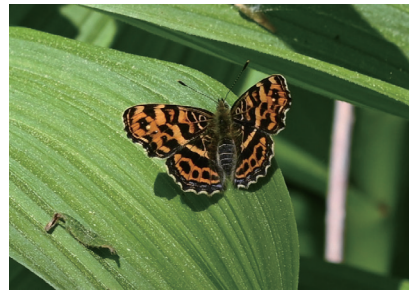
エゾシカ（サルウトー）
食草が増えてきたせいか、冬より穏やかな顔つきにみえる。はいっチーズっ！

【昆虫】

初夏を代表するのは、やはりトンボの仲間かも知れない。サナエやイトトンボの姿も確認された。春の蝶も、そろそろ終わり、夏型が飛び始めるだろう。



コサナエ（シラルトロ蝶の森）
まだ出始めで飛翔も覚束ないのに、水辺よりも森の中で見かけることが多い。



サカハチチョウ春型（サルボ遊歩道）
夏型は黒く地味な印象だが、春型は赤く、名前の由来である、逆さの八が目立たない



ウスバシロチョウ（塘路湖畔）
湖畔のエゾエンゴサクを食べて育ったのであろう。こう見えてアゲハの仲間

◎初夏の息吹と森の声を楽しむ、野鳥観察会

6月4日(土)は、初夏のシラルトロ湖畔で野鳥観察会を行った。
この時期は小鳥の鳴き声を辿る野鳥観察のほか、子育て中のキツツキの観察などがメインとなるが、この日は強風で野鳥の囀りも姿も疎ら。

講師からは囀りから何の鳥かを想像する楽しみ方や、見た目がよく似た小鳥の簡単な見分け方などの解説がありました。

蝶の森では、初夏を代表するエゾハルゼミの声を聴いたあと、その抜け殻を探したり、初夏に発生するトンボ類の観察をしました。

2時間ほどの観察で確認できた野鳥は、声も含めて24種だったものの、新緑と蝉の声に初夏を感じられた観察会となりました。

確認種 24種類 参加者 13名



7月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

縄文土器作り講座

[日 時] 7月2日(土) 10時～14時
[定 員・参加料] 10名 350円(材料費)
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター・レクチャールーム
◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

夏の湖畔散策会

[日 時] 7月16日(土) 10時～12時
[定 員・参加料] 10名 無料
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター
◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

夏の樹木と花を見に行こう

[日 時] 7月3日(日) 10時～12時
[定 員・参加料] 10名 無料
[開催場所] 温根内ビジターセンター
◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター
(0154-65-2323) まで

ホタルの週末

[日 時] 7月22日(金)～24日(日)
18時30分～21時
[定 員・参加料] 20名 無料
[開催場所] 温根内ビジターセンター
◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 5/15(3:59,18:39). 5/31(3:46,18:54). 6/14(3:42,19:03)

～編集後記～

■6月に入ったが、塘路は朝夕肌寒い日々が続いています。釧路地方に特有の曇った日には、センターの周りをツバメ類が群飛して驚かされました。

エゾシカの行動が活発になると同時に、マダニが増えています。草むらや谷地を歩くあとは衣服のチェックを怠らないようにしましょう。

暖かくなって、新型コロナウイルスは少し落ち着いてはきたものの、政府やマスコミによる脱コロナの言葉に、気のゆるみを感じることもしばしばです。引き続き、感染予防対策に、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日
入館無料